

「満干の潮」の福岡県天然記念物の指定について

県の教育委員会会議が、令和3年6月25日（金）に開催され、小倉南区頂吉の満干の潮が福岡県天然記念物への指定が了承される見込み。

これにより市内の県指定天然記念物は計6件（1件増）となる。

1 県指定天然記念物

- 名称 みちひ しお
満干の潮
- 所在地 福岡県北九州市小倉南区大字頂吉
- 構造・形式 間欠冷泉
- 所有者 農林水産省 林野庁
- 特徴・評価 北九州市と田川郡香春町の境界付近に所在する金辺峠の西方約2kmの山中、満干谷の標高約431m地点において確認された間欠冷泉である。該当地点からの不定期の湧水現象は地元でも古くから知られており、住民は「潮が満ちる」と表現してきた。湧水のメカニズムとしては、地下に形成された無数の割れ目が引力変化の影響によって圧縮されることにより、溜まっていた水が、湧き出すきっかけとなるというもので、観測データから、満月・新月の日に発生する可能性が高いことが判明している。本件は国内最大級のカルスト性間欠冷泉であり、湧水の挙動に地球潮汐の影響が明瞭に認められる稀有な事例として、学術的価値が高い。
- 公開・活用 現地は農林水産省の土地であり、原則的に立入禁止のため、現地公開は行わない。代替措置として、北九州市立自然史・歴史博物館（いのちのたび博物館）で、7月上旬から写真・映像等の紹介を行う予定。

2 指定の経緯

- 昭和62年度 北九州市立自然史・歴史博物館の元学芸員藤井厚志氏が観測を開始。以後令和元年までの32年間にわたり調査を継続し、湧水の出現間隔や湧水のメカニズムを解明。
- 令和2年度 調査結果をもとに、県文化財保護審議委員会で答申
- 令和3年6月 県の教育委員会会議において県天然記念物指定が決議

3 今回指定後の北九州市内の指定・登録・選択文化財件数

・国指定重要文化財	11件	(うち天然記念物	3件)	
・県指定文化財	51件	(//	6件)
・市指定文化財	80件	(//	0件)
・国登録文化財	24件	(//	0件)
・国選択文化財	1件	(//	0件)

合計	167件	(//	9件)
----	------	---	----	-----

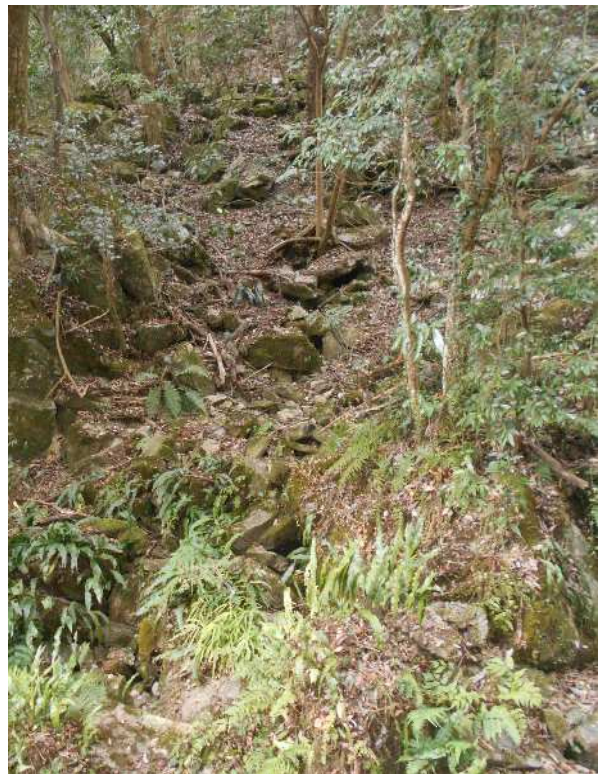
6 位置図（北九州市小倉南区大字頂吉）



7 写真



噴出時



通常時

【参考】

北九州市の指定文化財

(今回指定後)

種 別	国指定文化財 (件)	県指定文化財 (件)	市指定文化財 (件)	合 計 (件)
有形文化財				
建築物	4	3	8	15
絵画	0	5	2	7
彫刻	0	4	6	10
工芸品	0	8	7	15
書籍・典籍・古書	0	1	10	11
考古資料	1	2	14	17
有形民俗文化財	0	10	7	17
無形民俗文化財	3	6	13	22
史 跡	0	6	13	19
天然記念物	3	6	0	8
合 計	11	51	80	142

種 別	国登録文化財 (件)			合計 (件)
建築物	24			24

種 別	国選択文化財 (件)			合計 (件)
無形民俗文化財	1			1

●北九州市の天然記念物

国指定天然記念物

- | | |
|-----------|-------------|
| 1 千仏鍾乳洞 | (昭和 10 年指定) |
| 2 平尾台 | (昭和 27 年指定) |
| 3 夜宮の大珪化木 | (昭和 32 年指定) |

県天然記念物

- | | |
|----------------|--------------|
| 1 梅花石岩層 | (昭和 37 年指定) |
| 2 三岳のチャシノキ | (昭和 37 年指定) |
| 3 大山祇神社のイチョウ | (昭和 37 年指定) |
| 4 白野江のサトザクラ | (昭和 38 年指定) |
| 5 岩屋・遠見ヶ鼻の芦屋層群 | (平成 24 年指定) |
| 6 満干の潮 | (令和 3 年指定予定) |